



発行:青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課 (Email:bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp)

〒030-0801 青森市新町1丁目3-7 TEL:017-718-1384 FAX:017-718-1372

秋気いよいよ深い季節となりました。今夏、猛威を振るった新型コロナも少しは収まったものの、まだまだ予断は許されません。With コロナの時代にどう活動していくか、しばらくは我々の大きなテーマとなることでしょう。さて、『てとて』42号ができました。今回もたくさんのお話と情報を提供していきます。

## 少し前になりますが、7/14の事務連絡会議の報告をします!!

今回の会議は、予算や消耗品、また活動に関わっての新しい取組やコロナ対策、自己紹介用名刺作りなどを紹介し、ワールド・カフェ形式によるワークショップで、推進員の皆さんに、現状の思いをたっぷりと語っていただきました。たくさんのお話や情報、ありがとうございました。主なものを4つに分類してまとめてみました。



### 復活

- これまでやってきたいろいろな活動のすべてが復活することを望む。
- 対面の読み聞かせ活動を早く元にもどしたい。
- 細々でも続けてきた読み聞かせに意義があってよかった。
- コロナ禍、忙しい先生方の真に役立つ活動に特化してがんばった。(裁縫・ミシン補助、版画・スキー学習補助、印刷補助、条件付き丸付け、などなど)

### 悩み

- 中学校区を一つのボランティア活動範囲と見る大変さ。
- 校長、特に教頭先生と連絡を密に取らないと・・・
- 推進員が複数いるとやっぱり心強くていいなあ。いろいろ相談できるし・・・
- 一中学校区で複数の推進員がいる場合、小・中の別や活動範囲をどのように設定すればよいか難しい。

### ニュースタイル

- 苦しくなってきたPTA活動にも支援しよう。
- 小学校も中学校も区別なし。どちらでもボランティアを募り、どちらでも活動できるようにする。メリットはとても大きい。
- 元気な60~70代を活用しよう。仲間を引き連れてくるかもしれません。
- 地元を学習する「〇〇学」がちょっとブーム。
- 小、中と一緒に活動計画を実施している。
- 読み聞かせをリモートでもやってみたい。
- 中学校でも読み聞かせをやってみたい。

### 課題

- 部活動のクラブ化(どこでもとても大きな問題)。体制、予算、指導者、周知などが大変。
- コロナ禍において、学校ごとの対応の温度差が結構あり、対応に困る。
- 活動の際の仲間づくり、推進員の後継者の発掘や育成の難しさ。

## 学校訪問をしてみても一言

西村・成田の両生涯学習推進員で、これまでに約40の小・中学校を訪問させていただき、ありがとうございました。

西村一学校のニーズに応え、地域のニーズに対して協働していくためには、推進員の方々の力が重要であり、各校長先生方も大いに期待していることがわかりました。

成田一各校、コロナ禍でもやれる活動を見つけよう、実行しようという姿が印象的でした。そしてこの活動は、推進員の皆さんのコーディネート力と、先生方の事業理解によって成り立つということを再認識しました。

## ＜推進員さんに聞く！ ～つながることの大切さ～＞



造道小学校での読み聞かせ



読み聞かせの配信にチャレンジ

### ～見事な連携 造道中学校区～

第40号でもお伝えした造道中学校区ですが、活動に加え推進員のとつながりに注目です。造道中 加藤推進員(8年目)、原田推進員(4年目)、小柳小 今推進員(1年目)の3人です。3人の連携により、造道中学校区は協力・引継ぎ・継続がしっかりとできています。推進員のとつながりについて、お話をいただきました。

#### 【つながる・つなげるために】

- 図書ボランティア・読み聞かせボランティア、PTA活動、放課後子ども教室など、長く続く核となる共通の活動の場があったことは、3人を結び付け、様々な活動に広げていく窓口であった。
- 一人ではなく、一緒に活動する仲間がいるということはとても心強く安定につながる。
- 自分がピンチの時、苦しい時、「助けて!」と声をあげられる「助けて!つながり」ができた。
- 次代を担う後継の人は、やはり同じ活動や学校関係のお手伝いをしてきた人から見つけていくのがよい。

#### 【心構えとして】

- これからは、各推進員が中学校区全体を担当として捉える大きな見方が必要だと思う。
- 中学校区内の各推進員さんは、協力体制や情報共有という意味で、つながっておくことが大事だと思う。
- 協力してくれた地域や保護者の方々へ、感謝の気持ちを忘れずにしっかり伝えることが大事だと思う。
- いつでも、様々な方をウェルカムで受け入れられるよう幅広く対応する。

#### 【活動継続のために】

- PTA終了の方やこれから入る方、更に元気な地域のお年寄りの活用を進める。
- 現職PTAとの連携・協力を得つつ、新しい活動や人材を模索していく。
- 小・中の連携はもちろんだが、小・小の連携もよい活動の経験になる。
- 活動の楽しさを伝える人脈や口コミは大事である。
- 推進員バトンタッチの際は、次代の方と2人で活動できると効果的である。



小柳小学校での活動の様子

その他、推進員はボランティア出身の方が多く、つい推進員業務からボランティア活動になりがちで、線引きが難しい。また、校内でのボランティア活動の位置づけを高めるために日々がんばっている。そして、自校区のつながりはもちろん、他校区の推進員たちとも横のつながりができるシステムを構築してほしい。などのお話をいただきました。一部抜粋の紹介ではありますが、取材へのご協力ありがとうございました。

#### 【今までお疲れ様でした ～出崎真里推進員退任のあいさつ～】

この度、一身上の都合により地域学校協働活動推進員(教育委員会付け)を退くこととなりました。2年間研修の企画や相談対応等の業務において、皆様には大変お世話になりました。至らぬ点多々あったと思いますが、皆様に支えられて多くのことを学ばせていただき、大変感謝しております。

今後も活動中に悩み事などがありましたら、お気軽にご連絡ください。少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。皆様のご健康とご活躍を心からお祈りして、退任のあいさつとさせていただきます。

#### 【新メンバー高杉さん ようこそ】

この度、地域学校連携推進チームに加わりました高杉 愛です。皆様が活動しやすいようにお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

**編集後記：**With コロナの時代を受けて、活動再開の機運が高まっているのを感じます。感染対策を整えて、活動を元へ戻したり、新しい形に進化させたりして、協働活動を盛り上げていきましょう。なお、最新号やバックナンバーは青森市HPに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。 [生涯学習推進員 成田]